

葛飾区郷土と天文の博物館

平成22年度(2010年度)

実施事業報告

平成22年度博物館事業	04	2. 展示事業	25
1. 各種調査・講座・教室	06	2-1 特別展・企画展・収蔵品展	25
1-1 各種講座等	06	2-1-1 展示事業	25
1-1-1 各種講座等の運営	06	2-1-2 展示事業一覧	26
1-1-2 実施講座等の一覧	07	3. プラネタリウム事業	27
1-2 ボランティア事業	13	3-1 プラネタリウム事業	27
1-2-1 ボランティア事業について	13	3-1-1 プラネタリウム事業	27
1-2-2 ボランティア事業一覧	14	3-1-2 プラネタリウム番組	28
1-3 子どものための博物館事業	17		
1-3-1 子どものための博物館講座(博物館ジュニア教室)	17		
1-3-2 子どものための博物館講座一覧	18		
1-4 講演会・研究会の運営	21		
1-4-1 講演会・研究会の運営について	21		
1-4-2 講演会・研究会の一覧	22		
1-5 資料調査	23		
1-5-1 資料調査	23		
1-5-2 資料調査事業一覧	24		

平成22年度博物館事業

平成3年7月に開館した葛飾区郷土と天文の博物館は、郷土の歴史・文化の分野と天文の分野を併設したユニークな博物館です。一見調和しにくい二つの構成ですが、来館される方々の興味と関心にしたがって、郷土の歴史・文化に触れたり、天文学にアプローチしたりと、大人から子どもまでが「楽しみながら学べる博物館」を目指して、博物館の運営をしてきました。

こうしたなか、葛飾区教育委員会では、平成20年11月に「葛飾区生涯学習振興ビジョン」を策定し、その中の重点施策の一つに「郷土と天文の博物館事業の推進」を掲げ、様々な事業を展開し、その充実に取り組んでいます。

平成22年度は、「見る・知る・体験する・考える」ことの面白さを事業の柱に据え、特別展・企画展などの開催、各種講座の開催、プラネタリウム事業の実施、講演会・研究会の運営、子どものため博物館事業(博物館ジュニア教室)の運営、ボランティア事業の実施など、多くの事業を展開してきました。特に、郷土分野の事業の実施にあたっては、展示室、講堂、体験学習室など、既存の博物館施設を活用したほか、実際に「見る・体験する」ことに主眼を置き、利根川流域の自然と歴史を学ぶためにバスで現地へ赴いたり、いにしへの街道を歩いたり、つくばみらい市での稲作や畑作の体験を通して農村文化・風習を学ぶなど、活動の場所を広く館外に移して事業を実施しました。

一方、天文分野の事業では、理科離れが叫ばれる中、宇宙への夢を育み、科学への関心を高めることを目的に、ボランティアスタッフの協力を得て、実際に望遠鏡で「星を見る」観望会や太陽望遠鏡で「太陽を見る」観察会の充実を図りました。なお、各事業の詳細については、それぞれの項目を参照ください。

1. 各種調査・講座・教室

1-1 各種講座等

1-1-1 各種講座等の運営

平成22年度は、歴史が7講座、考古が10講座、民俗が11講座、天文が3講座、文化財が2講座の合計33講座を実施しました。このうち、「館外講座(バスツアー)」「道から歴史を探る」などの11講座については、現地へ赴いて、見学や体験を通して学ぶ館外講座を実施しました。

平成22年度の新規講座としては、葛飾区内で農業を営んでいるお宅を訪ね、農作業の手伝いを通して、現代の都市農業を学ぶとともに、古くから伝わる農家の文化・風習について学ぶ「農家をたずねる会」を開講しました。

また、江戸川で川漁を営んでいるお宅を訪ね、川漁を体験するとともに、江戸川の川漁の歴史や文化について学ぶ「江戸川の漁を学ぶ」を開講しました。

「農家をたずねる会」、「江戸川の漁を学ぶ」の両方の講座は、次年度以降も継続的に開催し、都市農業を支えるボランティア活動や江戸川の自然環境を調査・研究するグループ活動へ繋げていきます。



館外講座(天明浅間焼け追跡バスツアー2)
[p.07]



江戸川の漁を学ぶ
[p.11]

1-1-2 実施講座等の一覧

歴史 | 歴史入門講座

目的・内容 「続・江戸の大変 かわら版を読む」として、かわら版を題材にした初心者向けの歴史講座を開催しました。

回数 全3回

参加人員 延べ323人

江戸を知る区

目的・内容 「浮世絵出版おもしろ話」と題して、浮世絵の出版にまつわる様々なエピソードを挙げながら、出版物という側面から浮世絵を紹介しました。

回数 全1回

参加人員 延べ92人

鉄道史講座

目的・内容 「終着駅の旅情」と題した鉄道講座。終着駅、廃線駅のさまざまな例を挙げて、鉄道史を学びました。

回数 全1回

参加人員 延べ91人

館外講座(天明浅間焼け追跡バスツアー2)

目的・内容 利根川流域の自然と歴史をテーマに、鎌原遺跡、吾妻川巡見、鬼押し出の園の見学バスツアーと事前の学習会を開催しました。

回数 全1回

参加人員 延べ87人

館外講座(多摩川源流バスツアー)

目的・内容 多摩川、小河内ダム、道の駅たばやま等を見学するバスツアーと事前の学習会を開催しました。

回数 全1回

参加人員 延べ91人

館外講座(水害教訓バスツアー)

目的・内容	カスリーン公園、渡良瀬遊水地、首都圏外郭放水路などを巡見するバスツアーと事前の学習会を開催しました。
回数	全1回
参加人員	延べ93人

環境学講座

目的・内容	「東京低地のみなさんへー源流の山々からのメッセージ」と題し、歴史的な土砂災害を例に、治山・治水の重要性について考える講座を開催しました。
回数	全1回
参加人員	延べ74人

考古 考古学入門講座

目的・内容	考古学や考古学から見た地域史像などについてわかりやすく解説する講座。古代の都城、近世都市江戸、中世都市鎌倉をテーマとして開催しました。
回数	全3回
参加人員	延べ509人

かつしかの楽しみ方

目的・内容	葛飾区に関わる歴史や文化を題材に葛飾の魅力について考える講座。「文芸から見るかつしかの風景」「かつしかの地名と歴史」と題した2つの講座を開催しました。
回数	全6回
参加人員	延べ352人

道から歴史を探る

目的・内容	古代東海道を訪ね、三鷹台～多摩～府中を歩きました。(北区飛鳥山博物館との共同事業)
回数	全3回
参加人員	延べ163人

地域史フォーラム

目的・内容	「徳川将軍と御殿」をテーマに最新の研究を基にフォーラムを開催しました。
回数	全1回
参加人員	延べ88人

考古学セミナー

目的・内容	旧石器時代から近現代に至るまでの各時代像を考古学的に解説しました。
回数	全5回
参加人員	延べ333人

かつしか下町寄席

目的・内容	東京下町の暮らしと文化を、落語や芸能を通じて学ぶ講座を開催しました。(NPO法人と共同開催)
回数	全3回
参加人員	延べ252人

河川景観を学ぶ

目的・内容	荒川の川面の風景や街並みの河川景観の特徴を観察し、荒川流域の歴史や治水を学習しました。
回数	全2回
参加人員	延べ52人

葛西城址と古河公方

目的・内容	考古学ボランティアが中心となって、東京都史跡葛西城址の最新の研究成果を解説と、現地の案内を行いました。
回数	全1回
参加人員	延べ45人

民俗 注連飾り作り

目的・内容	注連飾り作りを体験しました。
回数	全1回
参加人員	延べ32人

中川流域の食文化を学ぶ

目的・内容	中川流域の食文化を、フィールドワークを通じて学びました。
回数	全3回
参加人員	延べ94人

日本酒の文化を学ぶ

目的・内容	大正時代まで葛飾区内の酒造場で日本酒が造られていた歴史をふまえ、日本酒を造ることのできる環境の復元を目指しながら、日本酒が育んできた文化を学びました。(市民団体「葛飾酒作り本舗」、「那倉米の会」との共同開催)
回数	全3回
参加人員	延べ86人

農村の文化を学ぶ会

目的・内容	昭和20年代の葛飾区の農家で伝承されていた生活文化の体験を通してその意義を考え、現代と将来の生活への活用について考えました。
回数	全2回
参加人員	延べ239人

交流市

目的・内容	葛飾産の新鮮野菜と茨城県つくばみらい市の野菜販売を行いました。
回数	全12回
参加人員	延べ882人

葛飾祭り学

目的・内容	浅草、花畑、葛西神社の酉の市を題材に、伝承されている民俗行事を通じて葛飾区の生活文化や村落景観の変遷について検討しました。
回数	全3回
参加人員	延べ64人

食文化イベント

目的・内容	葛飾区及びその周辺地域の伝統的食文化を学び食しました。(だんご汁・餅・小豆粥)
回数	全3回
参加人員	延べ115人

農家をたずねる会

目的・内容	葛飾区内には現在も50軒以上の農家が生産を行っており、東京近郊の都市農業地帯として出色の存在となっています。この講座では、そうした農家をたずね、現在の状況を視察するとともに、農家に伝承されている生活の知恵を学びました。
回数	全4回
参加人員	延べ52人

江戸川の川漁を学ぶ

目的・内容	江戸川的环境と魚業を学び、人と川との交流の歴史について調査研究を行いました。
回数	全4回
参加人員	延べ111人

民俗学講座「あの世を学ぶ」

目的・内容	「死後の世界」をテーマに、民俗学の成果に基づいて生活の歴史を分かりやすく解説するとともに、フィールドワークを行い民俗が伝承されている現場を訪ね、伝統的な民俗を将来に生かしていく方法を検討しました。
回数	全1回
参加人員	延べ46人

年中行事教室

目的・内容	葛飾の初午行事を学びました。(汁粉)
回数	全1回
参加人員	延べ63人

天文 星の講演会

目的・内容	最新の宇宙像について、天文学の第一線の研究者による初心者向けの講演会を開催しました。
回数	全7回
参加人員	延べ764人

文化財 | 文化財めぐり

目的・内容	葛飾区内の文化財を文化財保護推進委員の解説で巡りました。
回数	全3回
参加人員	延べ149人

文化講座

目的・内容	日本刀の輝きと研磨について学びました。
回数	全1回
参加人員	延べ90人

1-2 ボランティア事業

1-2-1 ボランティア事業について

当博物館には、200人を超えるボランティアの皆さんが登録しており、民俗・考古・天文の各分野の事業に参画しています。こうしたことから、博物館の事業は、ボランティアの皆さんに支えられていると言っても過言ではありません。

なかでも、ボランティアの皆さんが企画から運営まで行っている「太陽観望会」は年間に4回開催され多くの参加者で賑わいました。また、PTAや町会などの要請に応じて、学校や公園など会場に、望遠鏡で星空を観察する「出前観望会」も開催回数が昨年度に比べて増えています。



移動観望会

[p.15]



太陽観望会

[p.15]

1-2-2 ボランティア事業一覧

考古 | 葛飾考古学クラブ

目的・内容	発掘調査から収蔵資料の整理、活動成果の展示、遺跡調査報告会の開催など、一貫した調査研究を行いました。遺跡調査報告会では「邪馬台国と考古学の世界」と題した記念講演会もあわせて開催しました。また葛飾の伝統産業である今土焼や「環境」と「食育」をテーマにした古代体験などの出前授業のサポートをしています。
回数	全23回
参加人員	延べ755人

葛飾探検団

目的・内容	葛飾やその周辺をフィールドとして、住宅・店舗・工場などの建物や産業、川・道・路傍の碑・寺社などを訪ねながら、近代以降の葛飾の暮らしや文化の変遷を調査・記録しました。
回数	全15回
参加人員	延べ470人

山本亭防空壕跡の見学

目的・内容	葛飾探検団が中心となって葛飾区内の戦争遺跡を訪ね、戦争について考える見学会を行いました。
回数	全1回
参加人員	延べ45人

民俗 | 田んぼサポーター

目的・内容	米作りや野菜作りを学ぶ講座です。あわせて、こどもを対象とした農業体験教室「田んぼクラブジュニア」「畑クラブジュニア」(p.18)の指導支援も行いました。
回数	全13回
参加人員	延べ177人

天文 | 天文学入門講座

目的・内容	ボランティアを講師とした天文学の入門講座を開催しました。
回数	全2回
参加人員	延べ33人

かつしか星空散歩

目的・内容	ボランティアの指導による星空観望会を毎週金・土曜日に開催しました。
回数	全91回
参加人員	延べ3,760人

移動観望会

目的・内容	小学校や地域の夏祭り、夜間中学校などで観望会を実施しました。
回数	全4回
参加人員	延べ447人

太陽観察会

目的・内容	当館前で太陽望遠鏡による太陽の観察会を実施しました。
回数	全4回
参加人員	延べ402人

天文夏まつり

目的・内容	ボランティアによる天文展示の解説や工作教室を開催しました。
回数	全1回
参加人員	延べ237人

天文ボランティア研修

目的・内容	新人ボランティア向けに研修会を実施しました。
回数	全12回
参加人員	延べ270人

ギャラリートーク

目的・内容	ボランティアによる天文展示の解説を行いました。
回数	全1回
参加人員	延べ51人

大人のための宇宙塾

目的・内容	こどもを対象に宇宙の勉強をする教室「かつしか宇宙塾ジュニア」(p.20)に参加した保護者向けに、星座や太陽について勉強する講座を開催しました。
回数	全4回
参加人員	延べ134人

総合 博物館まつり

目的・内容	5月5日と11月3日の無料開放日に、ボランティアグループが日頃の活動の成果を発表するとともに、一般の人に博物館活動の紹介を行いました。
回数	全2回
参加人員	延べ1,628人

1-3 子どものための博物館事業

1-3-1 子どものための博物館講座（博物館ジュニア教室）

平成22年度のこどものための博物館事業は、自分自身で「考える・作る・体験する」をテーマに、16の事業を実施しました。

「考える」をテーマにした事業では、小学校5～6年生を対象にプラネタリウムを活用し、宇宙について学ぶ「かつしか宇宙塾」と4年生を対象にした「かつしか宇宙塾ジュニア」が好評だったほか、夏休み・冬休み・春休みに実施した「星の学校」に多くの参加者がありました。

また、「作る」をテーマにした事業では、夏休み期間に実施した「かつしか調査隊」の今戸焼作りや「天文ジュニア教室『望遠鏡をつくろう』」には定員を超える応募がありました。

「体験」をテーマにした事業では、江戸川流域をフィールドに自然を体験する「江戸川野遊び道場」と田植えから稲刈りまでの農業を体験する「田んぼクラブジュニア」が好評を博しました。加えて、22年度の新規事業で野菜の植え付けから収穫までを体験する「畑クラブジュニア」にも多くの参加者がありました。



望遠鏡をつくろう

[p.20]



田んぼクラブジュニア

[p.18]

1-3-2 子どものための博物館講座一覧

歴史 | **ペーパークラフト模型教室**

目的・内容	帝釈人車鉄道のペーパークラフト模型作りの講座を開催しました。
回数	全2回
参加人員	延べ42人

考古 | **かつしか調査隊**

目的・内容	伝統文化などを学ぶ体験事業を開催しました。(今戸焼、竹とんぼ作り、ミニ門松作りなど)
回数	全11回
参加人員	延べ675人

学習支援出前講座

目的・内容	区内小学校などで縄文時代の体験や今戸焼き作りを行いました。
回数	全5回
参加人員	延べ310人

民俗 | **田んぼクラブジュニア**

目的・内容	田植え、稲刈りなどの稲作体験講座を開催しました。
回数	全7回
参加人員	延べ341人

畑クラブジュニア

目的・内容	野菜植え付け、収穫などの畑作体験講座を開催しました。
回数	全5回
参加人員	延べ288人

江戸川野遊び道場

目的・内容	葛飾区にとって故郷の川である江戸川流域の自然を体験し、河川とともに発展した「葛飾」のなりたちを学び、郷土を愛する心を育む講座を開催しました。
回数	全11回
参加人員	延べ745人

手作りおもちゃ教室

目的・内容	竹を材料にした昔の手作りおもちゃ作りを体験しました。
回数	全1回
参加人員	延べ22人

農村体験キャンプ

目的・内容	茨城県つくばみらい市でのキャンプを通して、農村の生活・文化を体験しました。
回数	2泊3日
参加人員	延べ80人

山村の夏休み盆おどりツアー

目的・内容	福島県塙町で山村の暮らしと文化を体験しました。
回数	1泊2日
参加人員	延べ80人

体験イベント

目的・内容	昔に行われていた行事を来館者が体験する事業を開催しました。(七夕かざり、七夕のゆうべ、収穫祭)
回数	全3回
参加人員	延べ372人

歴史・考古・民俗 | **かつしか郷土塾**

目的・内容	小学校5～6年生を対象に、かつしかの歴史や自然、文化、農業などを学ぶ講座を開催しました。
回数	全6回
参加人員	延べ42人

天文 | 望遠鏡をつくろう

目的・内容	小・中学生を対象として、天体に興味をもち天体観測を楽しむことを目的に、望遠鏡の工作と使い方や仕組みを紹介する教室を開催しました。
回数	全4回
参加人員	延べ481人

| 星の学校

目的・内容	小学生を対象に、短期集中で星や宇宙について学ぶ教室。夏休み、冬休み、春休みの三季休業期間にあわせて実施しました。
回数	全9回
参加人員	延べ481人

| かつしかスペースカレッジ

目的・内容	中学生を対象にプラネタリウムを活用し、宇宙について学びました。
回数	全4回
参加人員	延べ39人

| かつしか宇宙塾

目的・内容	小学校5～6年生を対象にプラネタリウムを活用し、宇宙への夢を育み、科学への関心を高める事業を開催しました。
回数	全6回
参加人員	延べ574人

| かつしか宇宙塾ジュニア

目的・内容	小学校4年生を対象に、教科書だけで理解することが難しい天体の空間的な動きや宇宙の広がりについて、プラネタリウムを活用し、宇宙や科学への興味・関心を高める事業を開催しました。
回数	全4回
参加人員	延べ358人

1-4 講演会・研究会の運営

1-4-1 講演会・研究会の運営について

講演会・研究会の運営では、NHKとの共催で行った「細川家の至宝」と「平山郁夫とその世界」の関連文化講演会にそれぞれ定員を上回る応募があり、両展示に対する関心の高さをうかがえました。

また、平成22年度特別展「現場へようこそ～出稼ぎ・集団就職・雇用と就職の近現代史～」関連の講演会では、都内で銭湯を経営している方を講師に招き「東京の銭湯で活躍した北陸人の歴史」をテーマに、体験を基に講演していただいたり、焼き芋屋さんを研究している方を講師に招き、現在ではその姿を見かけることが少なくなった焼き芋屋さんについて「焼き芋屋さんどこに行った」と題した講演会を開催し、好評を博しました。



企画展記念イベント

[p.22]

1-4-2 講演会・研究会の一覧

文化講演会

目的・内容	NHKと共催で「細川家の至宝」「平山郁夫とその世界」の関連文化講演会を開催しました。
回数	全2回
参加人員	延べ286人

特別展講演会

目的・内容	特別展「現場へようこそ 一出稼ぎ・集団就職・雇用と就職の近現代史―」(p.26)の関連イベントとして「東京の銭湯で活躍した北陸人の歴史」「焼き芋屋さんどこ行った」と題した講演会を開催しました。
回数	全2回
参加人員	延べ101人

企画展記念講演会

目的・内容	企画展「かつしか発掘最前線! 一出土品から見た地域間交流―」(p.26)の関連イベントとして「国家の形成期の関東における集落と水上交通」「古代・中世のかつしかの水上交通」と題した講演会を開催しました。
回数	全2回
参加人員	延べ82人

企画展記念イベント

目的・内容	企画展「かつしか発掘最前線! 一出土品から見た地域間交流―」(p.26)の記念イベントとして、拓本のワークショップや埴輪のお面づくり教室、展示解説会などを開催しました。
回数	全5回
参加人員	延べ242人

花菖蒲研究会

目的・内容	葛飾区の区花である花菖蒲の植替えなどの栽培技術や室内展示方法について紹介する研究会を、日本花菖蒲協会との共催で開催しました。
回数	全2回
参加人員	延べ74人

1-5 資料調査

1-5-1 資料調査

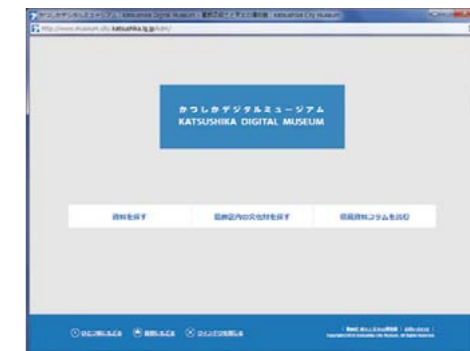
博物館では、20年にわたり葛飾区の歴史に関する調査を進めており、スタッフは様々な学問の領域から区の歴史の解明にアプローチしています。

歴史の資料調査は、文献資料などの所在を調べ、整理し、解読、活字化、フィルム化する作業を実施しました。

また、地下に埋もれている資料を通して歴史を解き明かす考古学では、発掘によって得られた遺物などの資料を整理・分析する作業を進めました。

一方、暮らしの中で伝えられてきた行事や習慣から文化の成り立ちの変遷を探ろうとするのが民俗学で、年中行事などの伝統行事の調査や記録化、農業や伝統産業・技術の調査研究を進めました。

さらに、寄贈・収集した資料の整理を進め、平成23年4月からはデジタルミュージアムとしてウェブサイトでの公開を予定しています。



かつしかデジタルミュージアム

1-5-2 資料調査事業一覧

歴史資料調査

目的・内容	葛飾区に関連した史・資料の所在調査及びフィルム化、デジタル化を行いました。
概要	花菖蒲・人車・水害関連絵図などの調査を行いました。

考古学学術調査

目的・内容	葛西城址第二次学術調査を実施し、現地説明会や発掘教室を行いました。
概要	館内では、柴又八幡神社古墳や葛西城址第一次調査の整理を行いました。

考古学専門調査

目的・内容	葛飾の収蔵品及び今土焼などの窯業関連資料の記録化を行いました。
概要	寄贈資料、館収蔵資料の調査を行いました。

民俗資料調査(共同研究)

目的・内容	葛飾区に関わる身近な民俗を調査し、資料の保存を図りました。
概要	東京低地と北総台地の伝統的な暮らしの調査を行いました。

2. 展示事業

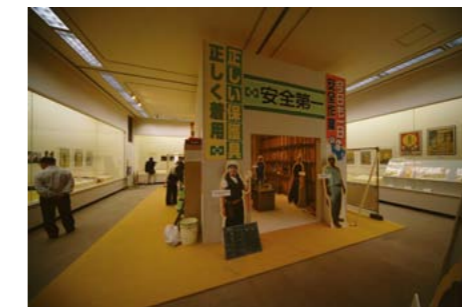
2-1 特別展・企画展・収蔵品展

2-1-1 展示事業

博物館では、特別企画展示室を会場に年に数回、テーマと期間を限って展示を行っています。取り上げるテーマは多岐にわたっていますが、郷土かつしかに係わるもの、広い視野と展望にたったもののほか、調査・研究の成果、収蔵品も随時公開しています。

平成22年度は夏に、区内の遺跡調査の状況と出土品を通じた地域間交流を探る企画展「かつしか発掘最前線!」を開催、秋には、出稼ぎ・集団就職・雇用と就職の近現代史取上げた特別展「現場へようこそ」開催しました。

そのほか、年度末には、寄贈・収集した資料を展示した「収蔵品展」と考古学ボランティアの活動の成果を展示した「活動成果展」を同時に開催しました。



現場へようこそ

— 出稼ぎ・集団就職・雇用と就職の近現代史 —
[p.26]



かつしか発掘最前線!

— 出土品から見た地域間交流 —
[p.26]

2-1-2 展示事業一覧

特別展「現場へようこそ 一出稼ぎ・集団就職・雇用と就職の近現代史」

内容	出稼ぎ・集団就職・雇用と就職の近現代史を展示しました。
会期	平成22年10月31日～平成23年1月10日
観覧者数	8,165人

企画展「かつしか発掘最前線! 一出土品から見た地域間交流」

内容	葛飾区内の遺跡調査の状況と出土品を通じた地域との交流を展示しました。
会期	平成22年7月17日～平成22年9月12日
観覧者数	11,903人

収蔵品展 葛探写真館「かつしか昭和の風景5」

内容	葛飾探検団が収集した葛飾に関する昭和の風景が知られる写真を展示しました。(活動成果展と同時開催)
会期	平成23年3月13日～平成23年4月10日
観覧者数	2,672人

考古学ボランティア活動成果展

内容	考古学ボランティアの活動の成果を展示しました。(収蔵品展と同時開催)
会期	平成23年3月13日～平成23年4月10日
観覧者数	2,672人

3. プラネタリウム事業

3-1 プラネタリウム事業

3-1-1 プラネタリウム事業

プラネタリウムは、平成19年3月の機器のリニューアル(デジタル式プラネタリウムの導入)以来、オリジナル番組の制作と生解説を基本に運営してきました。

館の主力である季節の番組は、春にクラシック音楽の名曲とともに銀河系を旅する「シンフォニー・オブ・ユニバース第2番」、夏には恒例となっているクイズを楽しみながら宇宙を巡る「クイズ! スター&プラネット2010」、秋は最新の宇宙の姿を紹介した「ハッブル宇宙望遠鏡の世界」、さらに冬は美しい姿を見せる「オーロラ 宇宙からの贈り物」を制作しました。

このほか、要望が多く寄せられている「プラネタリウムコンサート」を津軽三味線、ジャズ、ボサノバ、ジャズ&クラシック、薩摩琵琶など、星空と生演奏のもとに開催しました。



ハッブル宇宙望遠鏡の世界
[p.28]



オーロラ 宇宙からの贈り物
[p.28]

3-1-2 プラネタリウム番組

春番組「シンフォニー・オブ・ユニバース 第2番」

内容	一般向けのプラネタリウム番組
期間	平成22年4月17日～平成22年7月11日
観覧者数	3,757人

夏番組「クイズ! スター & プラネット2010」

内容	一般向けのプラネタリウム番組
期間	平成22年7月18日～平成22年9月5日
観覧者数	3,780人

秋番組「ハッブル宇宙望遠鏡の世界」

内容	一般向けのプラネタリウム番組
期間	平成22年10月2日～平成22年12月26日
観覧者数	3,655人

冬番組「オーロラ 宇宙からの贈り物」

内容	一般向けのプラネタリウム番組
期間	平成23年1月8日～平成23年4月15日
観覧者数	2,232人

アンコールスペシャル

内容	一般向けのプラネタリウム番組を再放映
期間	平成22年9月11日～平成22年10月1日
観覧者数	2,193人

ミュージックプラネット

内容	プラネタリウムの優れた音響システムを活用し、心地よい音楽と宇宙の話題を楽しんでいただく番組
期間	通年80回
観覧者数	4,653人

アンコールアワー

内容	過去に上映した人気を博した季節の番組
期間	通年123回
観覧者数	5,563人

プラネタリウムコンサート

内容	生演奏と星空を楽しむ
期間	年間6回開催
観覧者数	956人

ファミリーコンサート

内容	親子で生演奏と星空を楽しむ
期間	年間2回開催
観覧者数	249人

こども番組

内容	幼児～小学校低学年向け番組
期間	通年36回
観覧者数	2,430人

団体放映

内容	一般団体向けの放映
期間	年間9回開催
観覧者数	347人

学習放映

内容	幼稚園・保育園・小・中・高校向けの放映
期間	通年183回
観覧者数	16,065人